行政視察報告書　　広報広聴委員会　　　2017年8月9日(水)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　11番　石井通春

|  |  |
| --- | --- |
| 視察先 | 東京都羽村市 |
| 研修テーマ（調査項目） | 広報誌のリニューアル |
| 1. 取組の内容評価   ・平成18年「編集方針」を明確化して議員間の共通認識を図った  ・あきる野市で行っていた「ギカイの時間」を参考に、また市民への調査も行い平成25年本格的な、だよりのリニューアルを検討  ・紙面の刷新化と同時に「市民インタビュー」を実施して打よりの冒頭に掲載した  ・市内で活動している団体に対し、各常任委員会の輪番制で取材をする。掲載内容は各団体の活動状況など。  ・市民と議員が直接会話をする事が出来る。活動の現状を知る事が出来る。  ・団体にとっても、自分たちの活動が市民に理解を得られることにつながる。  （自治会、子育てボランティア団体、商店街、スポーツクラブ等々）   1. 今後の課題   ・アンケートの内容が、団体側の一方的発進だったのが気になる。それに対し、議会としてどう対応するか。どう意見を持つか。インタビュー当日も当然そうした議論がされていると思うが、その点の掲載があってこそ、もっと面白みが出ると思う。   1. 本市に反映できると思われる点   ・市民インタビューは、だよりの刷新化にとって一つの手法でもあるが、要望を聞くだけの場ではなく市議会として、現在の市の政策の中でどう活かしていくか提示する事までもっていければと思う。  ・だよりに対する感想調査は、議員一人当たり30名をノルマとして実施して、責任感を持たせたようだ。  ・編集用ソフト（エディカラー10、キャノン製）で、事務局で編集しているというがそんな重宝なソフトがあるのか。   1. その他 | |